

2019年6月4日

学校法人三幸学園
神戸元町医療秘書専門学校
校長 西島 多枝子 殿

学校関係者評価委員会
委員長 松本 悠

学校関係者評価委員会報告

2018年度 学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ①森 崇 委員 (医療法人 尚和会 人材開発部 課長)
- ②稲又 彩花 委員 (松野眼科医院 医療事務 ・ 第一期卒業生)
- ③松本 悠 委員 (飛鳥未来きずな高等学校 神戸キャンパス 教頭)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2019年6月4日 (会場 学校法人三幸学園 神戸元町医療秘書専門学校)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2018年度 学校法人 三幸学園 神戸元町医療秘書専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 武藤 洋和

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 松本 悠

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・医療秘書を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①前年度重点施策振り返り

学校スローガン：「飛躍する神戸校」

学校目標：1. 気な挨拶、正しい言葉遣い、積極的に努める生徒を育てる！

2. 資格取得、検定合格率 80%以上を目指す！

3. 退学率 3%以内 ➡実績 1.7% 目標達成

※ 精皆勤は35%以上 ➡実績 38% 目標達成

4. 生徒募集目標 120名 ➡実績 95名 目標未達成

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

教育理念に基づき人材育成像を掲げるものの、年数回の全体会議のみでの発信になり、あまり意識することが出来ずに年度を終えた。

②今後の改善方策

引続き人材育成像ポスターを校内に掲示し、「見える化」を図り、常に意識させる取組みから、目指す人材像の促進化を図る。

資格合格率、出席率等も校内掲示を行い、視覚的教育効果を狙う。

③特記事項

なし

【委員会コメント】

◆教育理念が実際社会にでてどうだったか。

＜森委員＞

三幸学園の生徒を受け入れた際、元気な挨拶や正しい言葉遣いは申し分ない。

尚和会では2つの病院を経営しているが、挨拶などの習慣が全く違い、離職率や職員のモチベーションの違いが顕著に出ている。その点から見ても挨拶の徹底の取り組みはとても良く感じる。

＜稲又委員＞

心の面ではコミュニケーションの取り方を知れ意見も素直に聞けるようになった。素直に意見が聞ける点は今の社会人生活でも役に立っている。

三幸フェスティバルで様々な人と関われ自分の意見も言うことが出来る様になり、人に相談する事を実践する大切さや方法を学んだことで社会に出ても活用出来ている。

(まとめ)

➡教育理念である「技能と心の調和」の「心」の部分は、特に指導を行い、挨拶のできる生徒を育てていく。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

①課題

多岐に渡る校務分掌がある中、質の向上を目指したいが、慢性的なマンパワー不足と人材育成の停滞が課題

②今後の改善方策

OJT・OFF-JTによる育成システムの構築

引続き積極的な卒業生採用・中途採用を行う

地域との連携を図る為にも教育活動に関する情報公開は更に改善を求めて行く

③特記事項

なし

【委員会コメント】

◆働き方改革で、人材確保や勤務時間等に変更はあったか。

＜森委員＞

人材の確保は常に検討。明確な対策は立てられていない。有給取得等の具体的項目に対しての人事設備は検討が出来ておらず、現場は苦しいが人件費の問題もあり対応が難しい。

また、残業に関しては働き方改革以前から取り組んでいる。そこまで慌てて対策をしないといけない状況ではない。

◆地元住人に対する病院情報開示・地元連携について

＜森委員＞

情報公開や地域連携に関して、地域の住民に向け無料映画鑑賞会を300名規模で行っている。

告知方法は、地域情報誌、SNSにて周知。また、広報委員会も設置している。まだ、現実的に何かが変わったとは言えないが地域密着を売りにしているので地域住民に還元しゆくゆくは来院数として身を結びたい。

◆実際働いてみて、勤務時間はどうか。

＜稲又委員＞

勤務時間は眼科の特性上、春先は少し忙しく残業もある。(受付は2名。検査助手も行っている。40代～30代の12名で勤務。)閑散期は残業なく帰宅が出来る。

(まとめ)

- ➡働き方改革における人員確保や勤務時間など、今後業務の進め方も含め改善を行っていく。また、年間残業時間を320時間以内にするなどの数値設定も行っていく。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

①課題

開校3年目になり少しずつ関連分野との関係性が構築出来てきたがまだまだ物足りないのが現状である。現場力を高める教育課程が不足している。

②今後の改善方策

業界との繋がりが持てるよう、講師派遣の依頼を更に多くし、病院訪問に積極的にいく。2019年度は更なる実践力を意識した教育課程変更を予定している。

③特記事項

実践力や応用力を試す場として、医療コンシェルジュの授業を2019年度より開始。また、医療事務シミュレーション大会を実施(2019.1.22)。

【委員会コメント】

◆卒業生が現場に出た際に専門知識をどこまで活かしているか。

<森委員>

大卒と専門卒の採用と比べ、現場の職員からは専門学校卒業の職員の方が、覚えがいいという回答が多かった。用語に慣れているのも専門の生徒の強みであり、覚えの早い要因の一つかもしれない。

◆職員のレベルアップ研修について

<森委員>

職員の研修に関しては、接遇研修を大切にしており、外部と内部で2種類を実施している。
また、未経験者に対しては医療のいろは等、座学の別途研修を設けている。
その他、事故災害等の研修も行っている。

<稲又委員>

特に研修もなく見様見まねで仕事を覚えた。小さいクリニックなので研修は特になかった。機会があれば是非研修に参加したい。

◆学生時代を振り返って実践授業について感じたこと。

<稲又委員>

在学中に実践的なものがあれば入職後患者様により安心感を与えられる対応が出来ると思う。
電話対応はもっと出来ていたらよかったと感じた。

(まとめ)

➡勤務を行う上で、教員・職員のレベルアップ研修は非常に重要であり、研修のレベルアップが業界との繋がりもより深めていく。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

資格取得率の更なる向上(全資格合格率80%以上の結果が残せて無い)
退学者の低減

②今後の改善方策

資格取得 ⇒ 教科会の定期開催
⇒ 検定 WEEK 実施による試験直前対策の実施
⇒ 先輩による勉強会の実施(縦の関係による、モチベーションUP)
退学率 ⇒ 数値目標の設定や、退学事前報告会等の開催

③特記事項

全国展開しているグループ校との連携により、資格取得に向けた傾向と対策を実施
同じように退学率低減についても教育開発部が主導となって、退学者への様々なアプローチを実施し低減
に努めている。

【委員会コメント】

◆選考の際に資格の数はどのくらい重視するのか。

<森委員>

尚和会では人物重視。コミュニケーション能力が高い方が望ましい。窓口に出ない業務は資格を見る
が窓口業務の採用の際はコミュニケーションを重視する。

◆検定 WEEK や補講の取り組みについてどう感じていたか。

<稲又委員>

焦りはあるが、時間を先生が管理してくれたことにより安心して勉強が出来た。
WEEK 中に教え合いでモチベーションが上がったように感じた。時間を設けてもらった事で集中できる環
境があったのが良かった。

(まとめ)

➡検定合格に向けては、クラス間で協力し合える環境と、勉強に集中できる環境を作り、更に合格率
向上に努めていく。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

担任スタッフの経験が浅く、専門知識が乏しいことにより、生徒支援が弱体化。
卒業生への支援発信を在学中から行えるように強化しなければならない。

②今後の改善方策

ビジネススキル勉強会や、企業訪問の活用

「同窓会 Sanko-Link」の活用と活性化⇒8月に同窓会開催予定

③特記事項

就職指導については、クラス担任と就職エリア担当のダブルフォローアップを実施し、内定獲得まで導く体制づくりをしている

【委員会コメント】

◆就職企業に対し訪問等の取り組みを学校が行う事に関してどう思うか。

<森委員>

是非来て頂きたい。仕事の悩みを聞いて頂けることが有難い。年齢が近い先輩がいない部署に所属している職員程悩みを打ち開ける事が出来る機会がある事はとてもいいと考える。

◆実際に先生に職場に来てほしいか。

<稲又委員>

先生方に話せる機会があるとほっとする。同窓会に関してはまた開催したい。

(まとめ)

⇒卒業生が教員に対し、卒業後も相談出来る関係を作って行く。その一つとして同窓会があげられ、またそこで得た情報も病院に共有し仕事を長く続ける環境作りを目指して行く。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

①課題

防災訓練等を行われて無い

②今後の改善方策

年一回程度は防災意識を喚起させ、いざと言う時の為に訓練(避難場所の確認)を行う

③特記事項

避難誘導図を各教室に掲示している(緊急速報が発砲された際の行動案内ポスター)

【委員会コメント】

◆病院の中での防災対策について。

<森委員>

防災訓練は年二回。その内1回は消防署を呼んで行っている。

警報を鳴らす訓練は実施出来ていない。認知症患者様等が不穏になる事が懸念されなかなかリアルな訓練は実施出来ていない。

座学と搬送・消火器の实地訓練を行っている。新入職員は参加必須で行っている。

(まとめ)

➡防災管理について、本校でも意識を高め避難訓練も実施をしていく方向で検討する。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

定員充足率を100%にする

②今後の改善方策

関西・広島広報室との連携強化を図り、募集活動にさらに力を入れる

③特記事項

兵庫県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる

【委員コメント】

◆進路決定までの流れに関して

<松本委員>

きずな高校では、入学タイミングが異なり生徒が入ってきたタイミングで進路相談を行っている。

6月にAOを実施する事に対して保護者からも特に指摘もなく早めに決まるのでいいと感じている。

(まとめ)

➡高校にも合格者の情報等随時報告を行っていき、高校・本校・保護者の関係を築けるようにしていく。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

②今後の改善方法

【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

①課題

個人情報の取り扱いについて更に強化し教員意識とセキュリティレベルを上げる

②今後の改善方策

個人情報を格納しているロッカー施錠システムや、PCログインシステム等について周知徹底する。また、万が一漏えいした場合を想定し、即時解決二次被害防止など迅速な対応が出来るよう、フローチャートの作成等準備を行う。

③特記事項

なし

【委員コメント】

◆個人情報の取り扱いについての取り組みと現状

<森委員>

診療情報管理室発信で定期的周知を図っているが徹底しきれていない。

個人情報を持ち出そうと思えば持ち出せる状態。

<稲又委員>

患者様の個人情報処分などの方法は厳しく指導されている。

(まとめ)

➡本校としても個人情報の取り扱いには十分注意し、ネット管理においてはパスワードを使用する等、厳重に取り扱っていく。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	1

①課題

学校開放やボランティア活動がほとんど出来てない

②今後の改善方策

合同校のメリットを生かして、学校開放等を積極的に案内実施していく

③特記事項

なし

【委員会コメント】

◆生徒ボランティアの受け入れについて

＜森委員＞

受け入れられるイベントとしては、「街の保健室」を実施。身長や血圧、骨密度の測定等を年2回。糖尿病教室を年3回実施しており人員が必要。

（まとめ）

➡地域交流にもなり、勉強にもなる機会である為、医療現場でのボランティアやアルバイトを積極的に案内していく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

専門卒に関する現場の評価や採用に対する評価基準はそれぞれであるが、専門卒に対しての期待は大きい。知識の部分で、特に専門卒は即戦力となっている。さらに、専門卒に求めるものとして知識と合わせコミュニケーションスキルも兼ね備えたバランスのいい生徒育成が必要である。

また、卒業生が増えていく上で、卒業生をフォローしていく機会や、情報を共有できる環境を大切にしたい。学校と病院が連携をとることによって長く勤務を続けられる卒業生を増やしていきたい。

今後は、地域の方との関係性をより深いものにしていく環境作りや、病院様との連携をはかれる機会を増やしていけることを期待している。